

## ご挨拶

2022～2023年度  
国際ロータリー第2770地区  
第9グループガバナー補佐  
齋藤 幸子（草加シティRC）



2022-23年度第2770地区第9グループガバナー補佐を拜命致しました。草加・八潮のロータリアンの皆様、一年間よろしくお願ひ申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、3年目となりましたが、次々と新しい株が発生し、終息の兆しが見えないまま新しい年度を迎えました。

2022-23年度、ジェファー・E・ジョーンズRI会長は「イマジンロータリー」をテーマに掲げ、「多様性・公平さ・インクルージョン（DEI）」を強調し、「インクルージョンこそ、会員増強のカギとなります」と表明されました。90年前の国際大会で、ロータリーの創設者の一人であるポール・ハリス氏は「ロータリーはあらゆる職業や地位、あらゆる国、あらゆる形式の宗教の人たちに開かれています。ロータリーの才知と栄光はまさにここに 있습니다。ロータリアンは多くの点で異なる者同士ですが、二つの点で完璧に調和しています。」と演説しました。著しく変化する激動のこの時代の中でロータリーは創設の原点の意を理解し、繋げ、向上し続けています。

そして、2022-23年度2770地区細淵雅邦ガバナーは地区活動方針をRIテーマと同じ「イマジンロータリー」としました。地区運営方針は「創造しよう未来への調和」－ロータリーにDEIの爽やかな風を－としました。高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI（多様性・公平性・インクルージョン）を推進し、学び、向上していくことに真摯に取り組み、2500名のロータリアンのモチベーションの向上、そして74クラブの活性化のためサポートをしていくことを示されました。

第9グループとしましても、RIテーマ、地区活動方針、地区運営方針を基に各クラブの活動のより活性化を目指し、連携と友和を深めて参りたいと思います。

コロナ禍で様々な制限のある中で、不安を抱く状況ですが、通常の例会、クラブ活動そして奉仕活動、親睦活動を十分に感染防止対策を施し、新たな活動方法も取り入れながら、実践することが会員のモチベーションを上げ、退会防止、会員増強にも繋がると思います。

また、パンデミックスの中、著しく変化する社会で、新たな課題が山積しています。世界で、そして地域でロータリーの活動に何が求められているか？を見いだし、実のある奉仕活動に繋げていきたいと思ひます。

ガバナー補佐の役割と責務を果たしていくべき、一所懸命努めて参ります。皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。